



台風15号・台風19号の被災地に対する支援

●台風15号で被災した千葉県へ出発

9月9日朝にかけて首都圏を直撃した台風15号では、千葉県を中心に家屋の損壊や広域停電などの被害を受けました。9月20日、その災害支援として、牛久市社会福祉協議会職員が茨城県社会福祉協議会の職員とともに千葉県鴨川市へ出発。9月20日から24日にかけて、災害ボランティアセンターの運営にあたりました。(写真1)

●牛久二中生が「りんごお助け隊」に

台風15号の影響で、島田町にある長沼りんご園では、収穫前のりんごが大量に落下。牛久第二中学校の1年生が駆けつけ、りんごの片付けを手伝いました。作業が終わると、生徒たちにりんごが振る舞われ、地元の美味しいりんごを頼張りみんな笑顔になりました。(写真2)

●台風19号で被災した城里町へ出発

10月12日夜に関東に上陸した台風19号は各地に甚大な被害をもたらしました。10月17日、浸水の被害を受けた城里町へ市職員が災害ごみの対応にあたる応援職員として出発しました。支援は、10月17日から21日にかけて実施しました。(写真3)

●台風19号で被災した大子町・常陸太田市へ出発

市保健師も台風19号により被害を受けた大子町、常陸太田市で災害支援を行いました。現地では在宅被災者の健康調査や健康管理に従事しました。(写真4)

●台風19号の被災者支援のため

水戸市災害ボランティアセンターへ

牛久市社会福祉協議会では、台風19号で被災した水戸市に10月16日から31日まで毎日、職員を1人派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。



1



2



3



4



寄付

温かい善意
ありがとうございます

●岡田地区ゴルフ大会から寄付

9月に行われた岡田地区スポーツ交流会(鶴長文正会長)主催のゴルフ大会は、今回で24回目を数え、174人が参加し、盛大な大会になりました。参加者は日ごろの練習成果を発揮し、健康増進や交流に努めました。大会終了後には、チャリティー募金を行い、集まった寄付金14,674円は、会長から牛久市社会福祉協議会へ寄付されました。



優勝、準優勝の快挙!

全日本マスターズ陸上競技選手権大会

群馬県で行われた「第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権大会」において、牛久市在住の飯島繁さん(82歳)が男子陸上競技M80クラス(80歳~84歳)の60m、100m、200mに出場。60m優勝、100m準優勝、200m第5位という成績をおさめ、出場したすべての競技で入賞しました。

飯島さんは、根本市長に大会結果を報告し、「今度は日本記録を目指したい」と抱負を語りました。





障がい者福祉への理解のため

牛久市障害者連合会より要望書提出

9月27日、牛久市障害者連合会より牛久市へ、障がい者福祉に関する理解や問題解決のための要望書が提出されました。要望書には障がい者が生活するための福祉サービスの充実、災害時の緊急避難場所が要望されています。御代川会長は「障がい者に対する理解不足や誤解がまだある。障がい福祉への理解が深まるよう望みます」と話しました。



高校生が交通安全を呼び掛ける

秋の全国交通安全キャンペーン

「秋の全国交通安全運動」に合わせて、9月19日に栄町三丁目交差点で街頭キャンペーンを実施しました。

県立牛久高等学校の生徒会長 ^{いまき だつき} 今給黎 樹さんが「誓いのことば」を宣誓し、生徒会役員の皆さんも参加し、約90人で運転手や歩行者の皆さんに啓発品を配布しながら交通事故防止や飲酒運転の根絶を呼び掛けました。



みんなで輪になり大数珠回す

伝統行事 金剛院「団子念仏」

9月19日、桂町にある金剛院で、毎年恒例の団子念仏が行われました。団子念仏とは、長い大きな数珠を、南無阿弥陀仏と唱えながら、時計回りに10周し無病息災を願う行事で、10周回すことにより10,000回念仏を唱えたとみなすようです。

参加者たちは「南無阿弥陀仏！南無阿弥陀仏！」と大声を出し、元気よく数珠を回していました。



新しい「かっぱ号」がお目見え

かっぱ号の新型車両が納車されました

10月、既存車両の老朽化に伴い、牛久市コミュニティバスかっぱ号の新型車両が納車となりました。新しい車両は、ワインカラーの日野自動車製ポンチョで、バリアフリーに対応したノンステップバスとなっています。今後も市民の皆さんに、身近で使いやすいかっぱ号となるよう努めてまいりますので、一層のご利用をお願いします。



牛久の新しい顔

10月1日から牛久市公式ホームページがリニューアル！

新しいホームページは「市民目線での使いやすさ」をキーワードに制作。これまでより、知りたい情報に素早くアクセスできるようになっています。また、ワインカラーを基調に牛久大仏のイラストを配置するなど、牛久らしいデザインになっています。

今後も分かりやすく使いやすいホームページを目指して、日々更新していきます。ぜひアクセスしてください。

リニューアルにあたりアンケートにご協力いただきありがとうございました。



スマートフォン
サイトも見やす
くなりました！





スポーツの秋！市内各地で体育祭を開催

市内3地区で市民体育祭開催

毎年恒例の市民体育祭が牛久・岡田・奥野の各地区で開催されました(牛久地区は10月14日、岡田・奥野地区は10月20日)。綱引きやボールを後ろへ送る順送球、地区独自のオリジナル競技などで盛り上がり、子どもから大人まで、すがすがしい汗を流し、スポーツを通じて交流を深めた一日となりました。



大きくなって帰ってきてね

牛久沼うなぎ放流・自然観察の集い

9月28日、「牛久沼うなぎ放流・自然観察の集い」が行われ、市内の小学生など、約100人が参加し、うなぎの放流体験を行いました。参加者はバケツに入ったウナギの稚魚15キロ(約750匹)を「大きくなって帰ってきてね、いってらっしゃい」と声を掛けながら放流しました。また、放流後には牛久沼周辺での自然観察会が行われ、牛久沼に暮らす生き物たちとの触れ合いも楽しみました。これからも皆さんで大きく育ったウナギが戻ってこられるよう、牛久沼をきれいにしていきたいと思います。



うしく河童大根、今年も出荷が始まりました！

うしく河童大根目揃会

10月18日、地域のブランド野菜「うしく河童大根」の本格的な出荷を前に目揃会が開かれました。目揃会は、出荷規格を統一するため文字通り「目」を「揃える」もので、生産者や市場関係者が参加します。

「うしく河童大根」は今年7月に県の銘柄産地指定を受け、また洗浄施設により出荷作業が不要なので、新規の部会員が増えています。

大根生産部会長の増原進一さんは「残念ながら台風の影響で傷が付いてしまったものもありますが、11月以降は本来の品質に戻るはずですよ。柔らかくておいしい大根ですので、ぜひ食べてみてください」とコメント。出荷先は主に東京などの市場ですが、市内のJA直売所や一部のスーパーでも購入することができます。



魚を捕るのに適した長いくちばしと短かい尾が特徴。鮮やかな水色の背中が宝石に例えられますが、胸のオレンジ色も野外では目立ちます。
名前の由来は、川の瀬を見るように飛ぶ「川瀬見」、川に住む背が美しい鳥から「川背美」など諸説あります。
羽ばたきながら空中で停止(ホバリング)して小魚を狙い、水面に一直線にダイブして狩りをするさまは見事の一言。注意して見ていると、池や川だけでなく、公園の池やビオトープにした学校の池などでも見られます。



カワセミ(翡翠)

ブッポウソウ目カワセミ科

しぜん大好き

